志布志市立志布志中学校学校便り 令和7年度11月号　　令和7年11月27日発行

志中の風

『自主』『友愛』『奉仕』

ハタ（周囲の人）をラク（楽）にする 「働く」

今月の23日は「勤労感謝の日」でした。勤労感謝の日は勤労を尊び，お米などの生産を祝い，国民が互いに感謝し合うという趣旨で昭和23年に制定されました。

以前は「新嘗祭（にいなめさい）」といって，宮中や各地の神社で，その年に採れた新しい穀物を供え，生産の喜びを祝う祭日でした。収穫の喜びと同時に，生産に携わった人々の苦労や努力こそ尊いものであるから，働く人々への感謝と元気で働けることの喜びを併せて祝い合う日になったのです。

私たちが安心して，不自由なく生活できるのは，社会全体で多くの人が働いて，成果に必要な物を生産してくれているからからです。大地震などのとき，全国各地から様々な生活物資が運ばれてきます。その時に現地の人たちは，生産に携わった人々の努力の尊さ，供給してくれたことへの感謝の気持ちをもつことでしょう。

このような経験がないと，労働の尊さ，感謝などを肌で感じることはできないのでしょうか。いや，違うと思います。目を家庭に移してみてください。

家庭の中には「家事の分担」という立派な仕事があります。買い物，お風呂掃除，選択など数えきれないたくさんの仕事があります。各家庭，様々な状況はあるかと思いますが，家事の分担は，ある意味家族一員としての義務といえます。そこに，お母さんの「ありがとう」，お父さんの「お風呂気持ちよかったよ」，生徒たちの「夕飯おいしかったよ」の言葉で，自然と互いに感謝の気持ちが湧いてくるのではないでしょうか。

ハタ（周囲の人）をラク（楽）にするから「働く」という言葉をきっかけに，家事の分担や責任，働くことの意義などについて家庭で話し合ってみてください。

労働ということを身近なものとしてとらえ，まずは家族，そして学校，地域へと目を向け，働くことに労を惜しまない生徒になってほしいと思います。

進路（生き方）について話す機会を

もうすぐ12月になります。

３年生は３者面談が終わり，受験校が決定し，授業中は勿論のこと，昼休みや放課後など，学習への取り組みが加速しているように感じます。是非入試当日まで，そして全ての友達が受検を終えるまで，学年が一致団結して学習への雰囲気をさらに高めていってほしいです。

さて，３者面談は，１・２年生もいずれはやってきます。その日のために今から勉強に頑張っていると思いますが，受験校を決めるのは誰でもない自分自身であるということを自覚しておいてほしいと思っています。とある高校の校長先生は，「保護者は一番の応援団長，教師はコーチ」とおしゃっています。

保護者や教師は自分の生き方を生徒に話し，生徒の夢を聞き，相談にのる。得意なことは褒めて，不得意なことには勇気を与える。それが保護者や教師の役割です。「保護者や教師は生徒の進路を決める応援者」ということを心得て相談にのってほしいものと考えます。

生徒が自分の意思で決定することは，自分の進路に責任をもつことにつながります。しかし，「好きなように決めなさい」では保護者や教師は必要ありません。進路を考える良きアドバイザーでありたいと思います。

御家庭で進路を話す場合，忘れてはならないのは将来の希望との関わりです。進学した学校・学科が将来の進路希望（職業）とつながっていることが大切かと考えます。職業に就くまでの経緯を考えて進路選択をするのが最善です。このことを中心として忘れないでほしいと思います。生徒の個性，適正，能力など多面的，多角的に考え，将来の夢実現に向け努力し続けてほしいと思います。明確な目標はなくても，こんな方向に進みたいという考えだけでもまずは生徒にはもってほしいと思います。

文化祭「Passion～志高く未来へ前進～」【10/31(金)】

県民週間のスタートとして、１０月３１日（金）文化祭を開催しました。各学年の総合的な学習の時間の発表と各クラスの合唱、吹奏楽部の演奏が披露されました。１ 年生は各学級の代表が郷土について調べたことをプレゼン、２ 年生は平和学習で学んだことを群読と歌で、３ 年生は職場体験学習の経験を寸劇で表現していました。各クラスの合唱も、当日までより良いものにしようと一所懸命練習に取り組み、その成果を発揮していました。特に３年生の合唱はどのクラスも甲乙付けがたく、素晴らしい歌声で、会場を魅了していました。吹奏楽部の演奏も、コンクールで金賞を受賞しただけあって、文化祭の締めくくりに相応しいものとなりました。平日にもかかわらず250名を超える方々に御来場いただき、文化の風薫る一日になりました。

避難訓練（火災）【11/4(火)】

家庭科調理室から出火との想定で避難訓練を実施。校庭に全員が避難できたのは６分１０秒でした。そのまま、校庭では、志布志消防署の方からの講話と消火器訓練を実施しました。講話では、火傷よりも煙を吸わないことに気を付けてほしいこと、プラグやコンセントにほこりがたまって発生するトラッキング火災についてなど事例を交えて話をしてくださいました。消火器訓練では５名の生徒、　さん(1-3)、　さん(1-2)、　さん(1-3)、　さん(2-3)、　さん(3-2)が自ら手を挙げて志願。「火事だー」と大きな声を出して周囲へ知らせ、習ったとおりに消化器を扱っていました。大火事の報道もあります。今後は、ますます寒くなり空気が乾燥し火事などが起きやすい状況になってきます。防火防災に努めていきましょう。

秋の花植活動【11/21（金）】

期末試験最終日の放課後、生徒会と東区コミュニティの方々で、学校正門の花の苗植え活動を行いました。生徒会は、３ 年生から１・２年生に引き継がれ、新生徒会を中心に活動しています。また、翌日土曜日７時から香月校区の花植活動もあり、休みにも関わらず朝早くから約１５名の生徒が参加しました。

花植活動は、単に場所を美しくするだけでなく、関わる人々の心を豊かにし、地域全体を活性化させる複合的な意義を持っていると思います。貴重な時間を使って、活動してくださった方全員の心遣い自体が、豊かさの証です。

１２月の主な行事

３日(水)　職員会議
５日(金)　【１・２年】授業参観・ＰＴＡ
６日(土)　志学教室
７日(日)　ANYTHING GOES FESTIVAL
８日(月)　小中合同研修会

１０日(水)　【３年】校内持久走・縄跳大会
　　第４回学校運営協議会
１１日(木)　【２年】校内持久走・縄跳大会
１２日(金)　【１年】校内持久走・縄跳大会
１３日(土)　土曜授業
２４日(水)　大掃除・終業式

雲外蒼天（編集後記）

早いもので二〇二五年も残り一ヶ月余り。今年はどんな一年だっただろうか。▼「税」「戦」「金」「密」「令」これらの漢字は、過去の「今年の漢字」で選ばれたものだ。増税された年、世界での戦争勃発、オリンピックがあった年は大抵「金」が選ばれる。コロナ禍で意識した「3密」、元号が変わった年の「令」など、たった一つの文字でその年を象徴する出来事を表現している。他の言語にはない特有の性質に、漢字の持つ奥深さも感じる。▼さて、そんな「今年の漢字」は毎年十二月十二日（「いい字一字」のゴロ合わせで漢字の日）に発表される。間もなくだ。一体、今年は、どんな漢字が選ばれるだろうか。予想してみるのも一興だろう。▼また、自分自身にとっての今年はどんな一字で表されるだろうか。私の場合は、「志」？志布志中に赴任して一年目、教頭として志新たにした一年・・・。「惑」？戸惑い、迷惑ばかりをかけているのでは・・・。さらに来年はどんな年にしたいか、考えるときっと明るい言葉が浮かぶのではないだろうか。（教頭）